

家庭教育学級

「親子で国際クッキング」

青少年健全育成部会



プの巻き方の違いにうなずいたり、また、炒める時の油の量や火の強さなどに歓声が上がることもしばしばで、そこに講師の先生方の人柄も加わり、笑い声の絶えないクッキングとなりました。

最後には質問コーナーもあり、それぞれの国でのクリスマスの雰囲気、新潟のお勧め料理店などを聞くこともでき、料理をはじめ、それぞれの文化の違いにも触れることのできた、いい機会となりました。

平成22年11月20日(土) 真砂小学校PTAとの共催により、家庭教育学級「親子で国際クッキング」を真砂小学校家庭科室にて行いました。当日は36名の参加があり、講師である国際交流員、劉漠(リユウバク)さんとゴチエリユックマンさんの指導の下、それぞれの母国料理である、卵とトマトの炒めもの(中国)と塩キャラメルクレープ(フランス)を作りました。味見を楽しんだり、クレー



ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

まさご体験教室

凧作り、凧揚げ

青少年健全育成部会

6月4日(土) 9:30から11:30まで真砂小学校において、まさご体験教室「たこあげ大会」を開催いたしました。昨年度に引き続き2回目の開催となりましたが、当日は晴天の中、約130名の方々からご参加いただくことができました。

たこ作りでも、たこあげでも、子どもたちと一緒に頑張って真剣に取り組む親や地域の方々の姿が多く見られ、童心にかえって楽しめたのではないかと思います。また、このふれあいが縁となって、今後

も地域全体で子どもたちを守る姿勢が強まればと願っています。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



元気が出てくるみんなの居場所

お茶の間 「日向ぼっこ」



西小針台三丁目自治会

◆活動のあらまし

《いつ開くか》

- ・月2回(第2・第4金曜日)午後1時30分～4時
- ・この他に、多世代交流行事を年6回(日曜日)

《やっている主なことは》

- ・お茶のみ、自由な語り、歌、ゲーム。

地域の方を講師に 音楽会(チェロ、大正琴の演奏) 小道具を使った健康体操、植物についての講話(県花雪椿について) 茶会等

「住み慣れたこの地域で安心して暮らしたい」とは誰もが持つ願いかと思えます。そのためにも「おたがいきま」の気持ちで互いに支えたり、支えられたり、といった地域内の世代を超えた気軽な交流が益々大切になってくるものと考えます。

ケアハウスに入所されるということで、自宅を「日向ぼっこ」の場として提供して下さった方のご好意に改めて感謝しています。



全国良寛会 会長の講話を聞く

「市政さわやかトーク宅急便」による講話(古くて新しい脳卒中、坂口安吾について)

市の福祉バスを利用した施設見学(ビュー福島潟)

多世代交流行事(公園清掃と紙芝居、クリスマスお楽しみ会、手作りゲームの遊び、餅つき大会)



公園清掃子供たちも大活躍↑ 餅つき大会子供らは大喜び→



《参加できる人は》

・地域に住んでいる人誰でも
・定例活動日は主に65才以上の高齢者が15名～25名ほどが常です。

・多世代交流行事は幼児～80代高齢者まで老若男女が35名～50名くらいで、楽しい賑わいを見せています。この時は「育成部」「男の茶の間」とも連繫して活動します。

《おせわをするのは》

現在、ボランティアのスタッフ9名が、企画、渉外、広報、記録、会計、訪問など担当を決めています。その一つひとつを話し合いながら進めています。

「日向ぼっこ」便り、写真等活動記録をその都度ファイルに整理し、集積して次に生かすようにしています。

茶の間に来た方が進んでお茶を出したり、後始末を手伝ったりするのが日常化しています。

《経費や備品は》

- ・市社会福祉協議会の「地域交流活動助成事業」の助成金(Bタイプ年12万円)
- ・「日向ぼっこ」参加費(一人1回100円茶菓代)
- ・自治会からの助成金
- ・自治会からは経費だけでなく、「日向ぼっこ」便り、写真など活動を全面的に支援してもらっており、自治会ぐるみ、地域ぐるみの活動になっていきます。
- ・備品は寄贈や手作りなどで賄っています。

◆これからのこと

地域の誰もが安心して、元気に、楽しく暮らしていけるよう、人とのつながりや絆を一層深めていくことが大切と考えます。そして「日向ぼっこ」がホッと

でき、元気が出てくるみんなの居場所になるよう、みんなですべて行きたいと思えます。そのためにも

「日向ぼっこ」へどうぞ！

「日向ぼっこ」から

こんにちは！

と高齢の方々の自宅を、じかにお訪ねし、まだ参加されていない方に声かけなどをして、交流の輪をさらに広げていきたいと願っています。

「日常の安心」のために
「いざの時」のためにも

講師を頼み叙情歌を楽しむ



楽しい語らい

「二一八才」

講演と音楽の集い

松海が丘第一自治会

会員の要望に応じて企画した

「中国に関する講演」と「中国民族楽器による演奏会」が6月25日(土)に開かれ約50人の来場者を得て盛況の内に終りました。今回は5年間にわたり中国の大学で教壇に立たれた経験を持ち、帰国後も中国人留学生の生活支援を続けておられる(会員の)佐藤喜彦さんのご協力を得て実現しました。

佐藤さんの講演からは発展する中国経済の状況や、わき目もふらずに勉強一筋に取り組む学生



達の姿が紹介されました。一方で高い技術レベルによる日本製品に中国人は絶大な信頼を寄せっており、日本人の私達は自信と誇りを大いに持つべきとの提言もありました。

また『同時通訳者』になることを目指して新潟大学で勉学にはげむ「余子慶」さんの民族楽器演奏にひととき大きな激励の拍手が送られました。



3・11東日本大津波災害

に学ぶ

松海が丘第一自治会

「平坦な海岸に津波は来ないとタカをくくっていた」とは3・11津波被災地の人達の言葉です。このことを重要に受けとめて早速、松海が丘第一自治会は独自の「避難経路図」を

作成し、5月から班を数グループに分けた全員を対象にした津波避難訓練に取り組みました。

自治会の班構成はバス道路を境にして1班と6班が山手側、7班と13班が海手側に分けられており、お互いに道路事情は異なり避難経路も漠然としておりました。

訓練終了後、参加者は「各地点の海抜を知り、いざという時の避難経路がよく確認できた」などの感想を述べておりました。また7月は児童の参加もあり、大人の質問や話し合いに混じって児童からも真剣な質問が出るなど有意義な訓練になりました。(本間 富男 記)



砂丘地に六月

「ハマヒルガオ」

300本試植

海岸線・国道402号線 松海が丘4の海側の飛砂対策で、昨年は10月16日に「なぎさの植物そだて隊」として「種蒔き」や「挿し木」をしました。

今年は6月14日新潟砂丘の会の提唱で国交省、区、真砂コミ協(有志)により「ハマヒルガオ」の苗300本を植えました。



昨年の種はやはり強風で飛ばされ、みるべき姿はありませんでした。只、ハマゴウの挿し木

は堆砂垣の脇のものが生きていて若芽をつけ息づいているので、これからは楽しみます。



生活環境部会

ひびく

6月23日夜、真砂会館で今年度第一回目の生活環境部会が開かれました。

部会では丸山純生さん（松海が丘第四自治会）を副部会長に選出し議事の進行にあたってもらいました。

根本部会長より、これまでの同部会の活動報告がなされました。

上新栄町保安林整備の活動では、真砂4丁目住民に隣接する部分の地権者より整備の工事について同意が得られ部分的ではあるが工事の見通しがついたこと（活動開始から3年10カ月のことです。）

今後の活動については海岸402号線の「飛砂」問題、「除雪」問題を中心に取り組むことを相談しました。

飛砂問題では、新川の新しい橋も完成し交通量も増え生活道路として重要さを増しているが、朝の渋滞や飛砂に乗り上げての事故も

再三起きている。これらは単なる地域問題ではないこと。

例年、市は大変な費用を掛けて除砂しているが「種蒔き」や「植樹」等だけでは抜本的な解決にならないこと・・・等の意見が出されました。

今後の具体的な取り組みとして海岸浸食や飛砂のメカニズム等の勉強として研修会を開催することとしました。

除雪問題は「ふたふた」の大雪で住宅地、特に四メートル道路等の除雪問題は深刻なこと。

市は自治会独自の除雪に補助金を増額したが除雪を引き受ける業者がいなくて等が各自治会より出されました。

この問題では各自治会の実態調査をした上で、どのように市に働きかけて行くか検討することになりました。

その他、アメシロ問題も相談しました。



当コミ協から

「東日本大震災」

避難者へ差し入れ

三月十一日発生「東日本大震災」による被災者の避難先、新潟西総合スポーツセンター避難者向け救済物資として「果物」を差し入れました。

西区健康福祉課、地域課より「避難者のお見舞いを兼ねたイベント実施か又は救済物資の提供依頼」等の相談が有った。

若林会長、松田副会長が「果物」の差し入れを提案したところ、「既に、笹団子の差し入れや種々炊き出しイベント等があり、通常の食事でもデザート付の弁当が支給されている。運動不足も重なって少々太り気味のきらいが有る」との事により「果物差し入れ案」は非常に結構と言う事だった。

コミ協三役で結成した「果物購入調査隊」は四月八日に新潟市中央卸売市場へ下見に行き選定条件としては、洗う必要もなく、ナイフを使わずに皮が剥け、衛生的に食する事が出来るものに絞って購入する事にしました。選んだ果物は



一、柑橘類（甘夏・駿河青）
二、バナナと決めた。
四月十四日コミ協三役で既述中央卸売市場へ赴き、甘夏（一人二個充てでM・Sサイズ合わせて十箱、バナナ一人二本充てで五箱）の二百名分を仕入（総額三万七千円相当）、その足で避難所西総合スポーツセンターへ持参しました。

避難者への受け渡しは、西区社会福祉協議会員、西区健康福祉課員を通じて贈呈して頂く事にした。避難者には翌日の朝食事時に差し上げるとの事でした。

後日談によれば、避難者はデザート付弁当、菓子類等甘いものなど豊富にあり、やや食傷気味のところへの「果物」の差し入れは本当にグッドタイミングだったとの評価で非常に評判が良かったとの報告を戴いております。

以上本誌を通じて報告致します。

「空き巣」

「車上あらし」に注意

平成23年7月23日

7月22日松海が丘第3自治会内に於いて、空き巣事件が発生致しました。

他の自治会内に於いても「空き巣事件」や「車上狙い」が発生しています。

お出掛けになる際は、戸締りを十分に行ってからお出かけ下さい。

車から離れる際は、車の中にカバン等の物を置かないように心がけましょう。

真砂小学校区コミュニティ協 平成23年度総会

平成23年度真砂小学校区コミュニティ協予算(概要)

平成23年5月14日西区副区 者から平成22年度活動報告、会長八木弘様、真砂小学校校長石原護様お二方の来賓をお招きし、新年度総会が開催されました。委任状を含め出席者は47名で98%の出席率でした。

真砂3丁目自治会長、井川道雄氏が議長に選出され、各担当た。役員は次のとおり決定しました。

役員…真砂小学校区コミュニティ協議会

会長	松田 勝雄	新任	(松海が丘第3自治会)
副会長	佐野 赳夫	再任	(西小針台3丁目自治会)
副会長	根本 修一	新任	(真砂4丁目自治会)
会計	高田 龍介	新任	(真砂2丁目自治会)
事務局長	池田 葵	再任	(晴海ヶ丘自治会)
役員…各部会長			
福祉部会長	佐藤 富治	再任	(希望が丘自治会)
青少年健全			
育成部会長	本多 深明	再任	(日和ヶ丘自治会)
文化部会長	白鳥 達彦	新任	(寺尾台自治会)
スポーツ部会長	下川 信也	新任	(真砂1丁目自治会)
生活環境部会長	根本 修一	再任	(真砂4丁目自治会)
地域防火防犯			
部会長	奥山 義之	再任	(真砂4丁目自治会)
広報部会長	水沼 寛	再任	(松海が丘第1自治会)

収入の部 (単位 円)

項目	金額	摘要
地域活動への市補助金	305,000	
運営に対する市助成金	200,000	
運営自己資金	81,000	
事務所借上市補助金	441,000	
内規予算	794,144	会員会費等、前年度繰越金含
計	1,821,144	

支出の部 (単位 円)

項目	金額	摘要
部会活動費	305,000	
運営費	281,000	消耗品、光熱費等、市助成金充当
事務所借上料	441,000	
内規運営費	794,144	役員報酬、事務、交通、通信、会議費等
計	1,821,144	

詳細については総会資料を参照下さい。

お知らせ 飛砂対策で研修会 生活環境部会

6月の部会の方針に沿って海岸402号線の飛砂対策の一貫として「研修会」を開催します。

・日時 9月7日(水)
夜7時より

・会場 真砂会館

講師には国交省の方、区役所職員、植栽等のコンサルタントの方です。

各自自治会には後日案内をさしあげます。

編集後記

第8号で一部誤記脱字がありました。投稿していただいた方には大変失礼なことをしてしまいました。心よりお詫び申し上げます。

第9号では自治会で行っている事、催し等投稿して下さった自治会もありました。有難うございました。

これからは部会の記事だけでなく、各自自治会で行われている行事、その他皆さんに知ってもらいたいこと、参考になることなどを主体にしていきたいと思えます。各自自治会長さんのご協力をお願いします。

